

白杵市 施策評価シート
(令和3年度)

評価 担当者	課名	氏名	内線
	保険健康課	杉野 等	1140

コード	I-1-1	施策名	生涯を通じた健康な生活習慣の推進
施策の方針	健康寿命を延伸する		
まちづくりの方針	生活の土台を築き、笑顔あふれる市民が暮らすまち(健康福祉)		
5年後のめざす姿	次世代を含めたすべての人が健やかな生活習慣を身につけることが健康寿命を延ばすことにつながるため、子どものころから、健康づくりの基礎となる基本的な生活習慣や食習慣・運動習慣を身につけることができるような取組を行います。健診を受けやすい体制を整え、健診受診の大切さを伝えることで受診率の向上をめざすとともに、健診の結果を生活習慣の改善にいかし生活習慣病の発症や重症化予防につながる支援を行います。すべて人がいきいきと自分らしく、生きがいや希望を持って暮らすことができるよう、休養の大切さやこころの健康に関する知識の啓発等に取り組めます。		
施策の内容	<ul style="list-style-type: none"> 健康寿命延伸のための現状把握と課題分析を行い、課題に応じた対策を検討実施します。特に、生活習慣病の発症予防のため、若い頃から健診を受け、健診の結果から生活習慣の改善に取り組めるよう全ての世代に対し健診の受診勧奨とその後の保健指導を行います。 子どもの頃から健康づくりの基礎となる基本的な生活習慣や運動習慣を身につけることができるよう、健康づくりに関する正しい情報の普及啓発に努めます。 		

<指標>

新規指標	指標名	説明・算式・引用	単位	実績の推移					
				R1	R2	R3	R4	R5	R6
お達者年齢	大分県福祉保健企画課が公表している白杵市の健康寿命(お達者年齢)	目標	歳		男性79.49 女性84.45	男性79.73 女性84.58	男性79.96 女性84.71	男性80.21 女性84.85	男性80.45 女性85.00
		実績		男性79.05 女性86.23	男性79.26 女性84.32	男性79.93 女性84.19			
		達成率	%		男性98% 女性100%	男性100% 女性99.5%			
脳血管疾患の標準化死亡比の減少	脳血管疾患における死亡率の全国平均を100(基準値)として算出	目標	(数値)		男性115.3 女性132.1	男性111.6 女性127.3	男性107.8 女性122.5	男性104 女性117.7	男性100.0 女性113.2
		実績		男性119.1 女性136.9	男性119.1 女性136.9	男性119.7 女性136.9			
		達成率	%		男性84% 女性82.7%	男性84% 女性82.7%			
メタボリックシンドローム該当者の割合	国保特定健診受診者のメタボリックシンドローム該当者割合	目標	%		男性28% 女性11.5%	男性26.1% 女性10.7%	男性24.2% 女性10%	男性22.3% 女性9.2%	男性20.35% 女性8.4%
		実績		男性29.8% 女性12.2%	男性31.5% 女性11.8%	男性31.2% 女性11.2%			
		達成率	%		男性88.8% 女性97.5%	男性80.4% 女性95.3%			
3歳児の虫歯がない者の割合	3歳児健診実績	目標	%		80.0	80.0	80.0	80.0	80.0
		実績		82.7	75.3	75.3			
		達成率	%		94.1%	94.1%			
睡眠で休養が十分取れている者の割合	国保特定健診受信者のうち、睡眠で休養が十分取れていると答えて人の割合	目標	%		75.0	76.3	77.5	78.8	80.0
		実績		73.8	74.9	75.5			
		達成率	%		99.9%	98.9%			

指標の分析

脳血管疾患の標準化死亡比は男女ともに高く、健康寿命の延伸のためには、脳血管疾患をはじめとした生活習慣病の発症予防や重症化予防の取組が重要です。生活習慣病予防の第一歩は特定健診を受け、自分の健康状態を正しく知ることです。医療機関や健康管理センター等の関係機関と連携し、特定健診の受診勧奨を強化充実していく必要があります。また、子どもの頃から生涯を通じた生活習慣病予防対策が大切です。肥満の児童・生徒の出現率の減少に向け、子ども子育て課、教育委員会と役割分担をしながら、個別指導やポピュレーションアプローチに取り組む必要があります。

<市民意識調査結果>

	領域名	必要度	満足度
市民意識調査結果(R3調査)	向上領域	2.60	2.21
市民意識調査結果分析	健康長寿を実現するためには、日頃から運動や食生活など規則正しい生活習慣を送り、定期的に健康診断を受け予防に努めることが大切です。「必要度」「満足度」とも高くはなっていますが、メタボの該当率は上昇し、健康状態が改善しているとは言い難い状況です。市民一人ひとりが健康づくりに関心を持ち、取り組めるような施策を推進していきます。		

満足度

<次年度以降の課題>

令和4年度以降の課題	脳血管疾患の標準化死亡比は男女ともに高く、健康寿命の延伸のためには、脳血管疾患をはじめとした生活習慣病の発症予防や重症化予防の取組が重要です。生活習慣病予防の第一歩は特定健診を受け、自分の健康状態を正しく知ることです。医療機関や健康管理センター等の関係機関と連携し、特定健診の受診勧奨を強化充実していく必要があります。また、子どもの頃から生涯を通じた生活習慣病予防対策が大切です。肥満の児童・生徒の出現率の減少に向け、子ども子育て課、教育委員会と役割分担をしながら、個別指導やポピュレーションアプローチに取り組む必要があります。
------------	--

<施策を構成する主な事務事業一覧表>

事務事業名	事業内容	担当課 ※実施した課を記入	課の重点 ※運営計画記載	事業費(単位:千円)			課長評価	公共5カ年	他の関連施策コード
				R2年度実績	R3年度実績	令和4年度年度見込み			
1 乳幼児等健康診査	4か月・10か月・1歳6か月・3歳6か月健診等乳幼児の健診実施や、妊婦健診の費用助成	子ども子育て課		20,024	19,824	22,974	継続		
2 乳幼児等訪問事業	生後4ヶ月を迎えるまでの乳児の保健師・看護師・栄養士等の全戸家庭訪問を実施	子ども子育て課		1,209	1,275	1,505	-		
3 予防接種事業	予防接種法による定期予防接種及び任意予防接種の費用助成	子ども子育て課		93,323	78,839	93,707	継続		
4 がん検診事業	各種がん検診の実施	保険健康課	○	36,071	38,428	45,761	重点継続		
5 脳心血管病重症化予防事業	脳血管疾患のハイリスク因子である高血圧者への保健指導(訪問等)・精密受診勧奨の強化	保険健康課	○	3,077	3,332	3,500	重点化		
6 特定健診特定保健指導事業	特定健診と特定保健指導の実施	保険健康課	○	37,223	37,791	36,434	重点継続		
7 食育推進事業	食育推進計画に基づく、関係機関と連携した食育推進のためのイベントの開催、白味噌(うすあじ)の普及	保険健康課		90	98	208	継続		
8 子ども医療費助成事業	子どもの医療費を助成することにより、疾病の早期発見と治療を促進	子ども子育て課		83,323	97,451	117,008	重点継続		
9 健康マイレージ事業	運動習慣の定着、健診受診を推進し、市民の健康意識の向上及び生活習慣の改善を図り、医療費の適正化及び健康寿命の延伸を目的としています	保険健康課		1,661	1,611	1,601	継続		
10									
合計				-	-	-			

<施策の今後の展開 ~担当課長評価>

進捗状況	白杵市国保被保険者の生活習慣病有病率は、県下でも常に上位を位置し、各種生活習慣病予防対策事業を行っています。高齢者になっても、生活習慣病になることなく、また、罹患したとしても重症化することなくするためには、幼少期からの規則正しい生活習慣を身につけさせることが最大の予防で、健康寿命の延伸につながります。特に糖尿病性腎症対策を医療機関として連携し、事業展開している成果が顕著に表れてきており、糖尿病の罹患率は多くなっていますが、軽傷者を見つけ出し、指導、治療につなげているため、人工透析に移行する方が目に見えて激減しています。また、本市の児童生徒の肥満出現率は大分県や全国に比べ高く、早急な対策が必要とされるため、R2年度より学校健診のデータをもとに、生活習慣病発症につながるハイリスク者の児童に対し2次検査を開始予定でしたが、コロナ禍においてすべての事業進捗が遅れています。新型コロナウイルス感染症の状況を注視しながら、各事業の実施方法や範囲等修正を加えながら取り組んでいかなければなりません。まずは新型コロナウイルス感染症の抑え込みを行い、今後の事業を検討することが重要となります。	課長評価	最重点施策であり、来年度強化する
------	--	------	------------------

<施策の今後の展開 ~内部評価(内部検討会)>

※以降の評価は、令和3年度~令和5年度の3カ年に分けて実施予定。

実施年度	内部評価
令和3年度実施済	

<白杵市行政活性化推進委員会による外部評価:最終>

外部評価	評価のコメント
-	

<白杵市行政活性化推進委員会を受けての市の取組>

--